

## 第60回シグマ委員会熱化グループ会合議事録

日時 昭和43年8月23日(金) 午後1時~5時20分

場所 原研東海研 VdG 29号室

出席者 関谷, 錦織, 飯島, 芳賀, 飯泉, 坂本, 中原, 大竹, 角谷, 綾尾

以上 10名

### 配布資料

1. 第59回シグマ委員会熱化グループ会合議事録
2. DataのCompilation 飯泉
3. Graphite(1800°K)の $S(\alpha, \beta)$ ,  $\sigma_t$ 及びカーネル 中原
4. Dynamical Theory of Liquids 中原

### 議事

1. 前回議事録確認

訂正事項なし

2. 文献調査

まず前回割当て分のデータ・シートが提出された。

坂本氏よりReference Cardを作成したものの報告があり, Cardが回覧された。

資料情報 Vol. 11. №24 ~ Vol. 11. №32

CONTENTS Vol. 11. №24 ~ Vol. 11. №32

から, 調査すべき文献がリスト・アップされ, 割当てが行なわれた。

坂本氏より次回に集つた分で今年度の調査は切りをつけて文献リストにまとめる。以後の分は来年度のまとめにまわすとの発言があつた。具体的な作業方針はこれから考えるとのことであつた。

DataのCompilationについて飯泉より資料2の説明があつた。討論の結

果次の事項が確認された。

データの記入法については、取敢えず文献に記載されている通りに記入する。データ・プロッターを使用する件については結論は出なかつた。

$\mu$ ,  $D_0 v$  は計算値のみ収録し、パルス実験による値は入れない。

$H_2 O$ ,  $D_2 O$

Be, BeO, Graphite の3グループに分けて作業を行なう。

Organic

対象をしぼる意味で「ZrH」及び「その他」の項目は今回は落す。

作業分担については鋪織氏はOrganicを分担する。

10月か11月中にワーキング・グループで作業する。

記入用シートを早急に作成する。

1月中に印刷に出せるようにする。

シートには著者名の次に文献及び所属機関を記入する。タイトルは記入しない。

### 3. Evaluation について

#### (1) 成果報告書の件

中原氏より8月19日の編集委員会について、また原稿の集まり具合についての報告があつた。印刷上の形式についても2,3の報告があつた。

未提出の原稿は8月中に提出して頂くことになり、9月6日午前10時より、原稿の検討会を持つことに決つた。このワーキング・グループに参加を予定されている人は飯島、大竹、中原の編集委員の他に関谷、飯泉、松岡、芳賀、菅原の各氏である。

#### (2) Evaluation 作業報告

中原氏より、 $1800^{\circ}K$ のグラフアイトの散乱法則、全断面積及び散乱核についての報告があつた(資料3)。

#### 4. コード作成の中間報告

##### (1) ASTOM

関谷氏より大要次のような報告があつた。先日報告した内容に従つて計算を進めている。コリオリの力を入れることを考え、その準備も進めている。

##### (2) THRUSH

角谷氏より大要次のような報告があつた。東大の計算機で計算しており CDC は未だ使っていない。Self の計算がうまく行っていない。

##### (3) Wurtzite の振動数分布

飯島氏より大要次のような報告があつた。Formulation を進めておりコーディングには未だ進んでいない。資料を用意したが、次回で報告する。

#### 5. 液体の dynamical theory について

中原氏より液体の dynamical theory についての最近の研究の動向に関する報告があつた(資料4)。

#### 次回予定

日時 昭和43年10月25日(金) 午後1時~5時  
場所 日本原子力事業KK(霞ヶ関ビル)(予定)  
議長 芳賀 暢